

2022年度 法人事業報告

社会福祉法人露の会 法人本部

1. 新施設開設の準備

ひのき工房のリサイクル、お助け隊など外作業を分離し、旧武田宅（賃借）で新施設を開設すべく準備を進めて来ましたが、現状のままでの道路ではダメ（市建築指導課）とのことで予定していた令和5年4月の開設は実現できませんでした。

2. コロナ感染症対策

それぞれの施設とも感染防止対策をとってきましたが、1施設で利用者、職員7名が感染し1週間閉所しました。他施設も利用者、職員等時々感染者が出ましたが、該当者をお休みにするなどして大きな混乱はありませんでした。

皆さんが一番楽しみにしている旅行は今年も実施できませんでしたが、施設内だけのお祭り、クリスマス会、映画、ゲーム会、食事会など工夫しながら実施し、喜ばれました。外部販売のイベントもスタッフだけの参加でしたが、総売上は約100万円となり意外に多額でした。

3. 各施設の指導

1) ふきのとう

ずっと懸案事項だった生活介護一本化がようやく11月に実現出来ました。

2) ぽぷら八王子

型替要員の採用に努め、ようやく3名採用出来ました。しかし、その教育指導に課題を残し、生産管理体制の整備と共に新年度に向けて改善の対策を進めています。

3) とぶきふねん

現場職員の退職をカバーすべく採用に努め、職員5名、メンバー4名を採用、人員不足を解消し、以前より強力な体制になりました。

4. 労働条件の改善

- ① 今年、国の臨時交付金等も使い平均で3%以上の改善を実施しました。
- ② 一般就労や就労継続支援A型のメンバーで、勤務や作業レベルの安定した方から順次最低賃金より40円～50円以上アップし、健常者と比べても“同一労働同一賃金”と言えるようにしました。

5. 地域社会の関わり

- ① コロナ感染予防のため残念ながら子供食堂は休業状態が続いていましたが1月より再開しました。
- ② 5月にウクライナ救援募金への寄附をお願いし、避難民の救援のために使われるように、八王子市福祉政策課窓口（日本赤十字）を通じて170,760円送りました。
11月には、豪雨災害被災者への寄附をお願いし、144,564円集まり、赤い羽根共同募金会を通じて送ることが出来ました。
- ③ 更に2月に発生したトルコ・シリアの大地震被災者への“きょうされん”呼びかけの救援募金にも取り組み、128,802円が集まり送ることが出来ました。
- ④ 隣地の武田様より空家になった家屋敷を4月から借り受け、近隣住民の協力を得ながら、新施設開所に向けた準備を進めました。

⑤

6. 本部事務局の取組み

- ① ストレスチェック (管理職) を実施し、職員のストレス解消に即応した研修を行った。
- ② 同一労働同一賃金のため、今までなかった就労作業のステージ表を作成した。
各施設の事務作業の階層別作業分類表を作成し、統一した指導に対応させた。
- ③ とぶきふねん、ひのき工房の会計担当者を育成、当面の新施設会計に目途
- ④ 第4回 OJT 報告会を実施し、各施設、事業所での育成文化の定着に努めました。
- ⑤ 各種職員研修会を実施し、職員の学ぶ力の育成に努めました。

レポート学習	ゼンコロ会報誌「不思議な力」から学んだことについてのレポート提出 2022/9
学習会	地域福祉 (CSW) への相談支援の流れ (八王子市社会福祉協議会) 2022/11/11
講師派遣研修	レジリエンス～折れない心の作り方 (岩見 俊哉) 2023/1/13 多様な価値観を持つ職場の中で起こる、困難や脅威に直面した時に逆境や困難に押し潰されない、「適応力」「復活力」を個人として発揮するためのポイントを学習
OJT 研修	各施設、事業所より OJT の結果報告 2023/2/17
振り返り研修	2022 年度のふりかえりと 2023 年度の目標についてレポート 2023/2